

## IIJ、IPv6関連サービスを拡充

---

2001年3月28日

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社：東京都千代田区、代表取締役：鈴木 幸一)は、2001年4月1日よりIPv6関連サービスを拡充し、接続やサーバの構築・運用管理を含めた総合的なIPv6ソリューションを提供いたします。

IPv6対応させた各種ソリューション・サービスは、IIJインターネット・データセンターにおいて提供する予定です。サービス提供地域は東京より開始し、順次、全国のIIJインターネット・データセンターへ拡張していきます。IIJ技術陣によるIPv6に関する運用実績をもとに、ネットワークやサーバの構築から各種マネージメント・サービスに至る総合的なIPv6関連サービスを提供することにより、新しいネットワーク・サービスの立ち上げを図るコンテンツ・プロバイダーにとって最適な事業環境を提供し、いち早い市場の立ち上げをサポートいたします。尚、本サービスの第一号ユーザとして、日経BP社がIPv6総合情報サイト(v6start.net)を立ち上げることが決まっております。

またIPv6対応の接続サービスにおいては、世界初の商用化となる「IPv6デュアル・スタックサービス(仮称)」を今秋に開始する予定です。これにより、IPv4パケットとIPv6パケットを同一ネットワークで送受信することが可能となり、IPv6普及時に備えた接続環境の導入をサポートいたします。更に現在提供中の各種接続サービス、「IPv6ネイティブサービス」(ネイティブ型(\*1))、および「IPv6実験サービス」(トンネル型(\*2))の試験提供期間を2002年3月末まで延長することにより、IPv6接続の一層の普及を図ります。また「IPv6ネイティブサービス」においては、同年4月1日より、大阪、名古屋でのサービス提供を予定しています。

IIJは、1999年8月のIPv6実験サービス開始以来、IPv6開発・サービス化における国際的なイニシアティブをとることにより、同分野での運用技術を確立してきました。今後も、開発力の一層の向上を図るとともに、インターネットのもつ可能性を切り拓いていきます。

(\*1) ネイティブ型：IPv6のパケットをそのままインターネット上で伝送する方式。

(\*2) トンネル型：IPv6のパケットをIPv4でカプセル化された状態でIPv4のネットワークにIPv6パケットを通す「IPv6 over IPv4トンネル」を用いた方式。

**IPv6ネイティブサービスは、「2000年日経優秀製品・サービス賞」にて優秀賞日経産業新聞賞を受賞いたしました。**

以上

---